

植物成長調整剤

サイコセル[®]PRO

クロルメコート液剤

短く、強い小麦作りに!

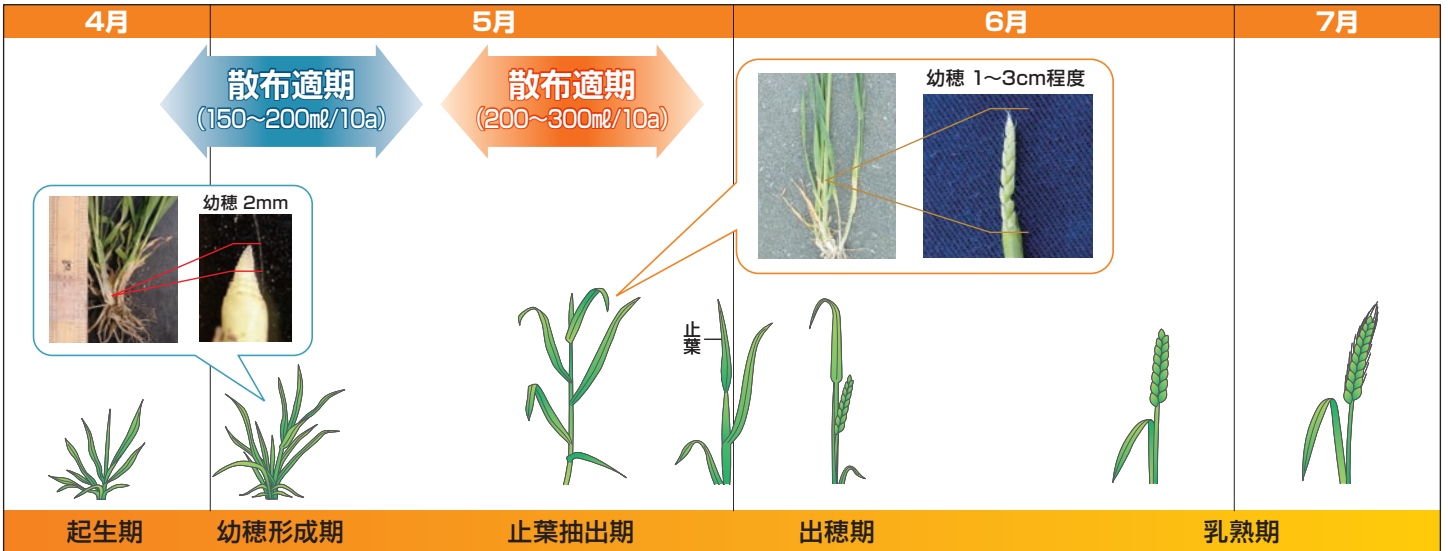
秋まき小麦に
2回散布できるよう
になりました。



□・BASF

We create chemistry

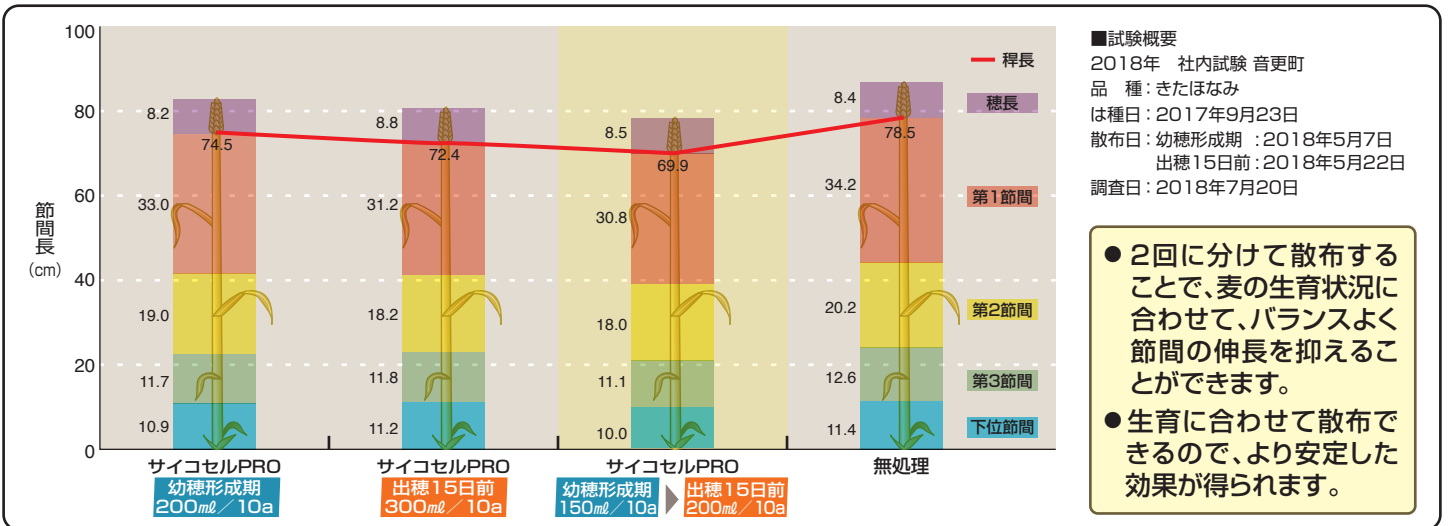
■秋まき小麦の使用時期モデル図



【サイコセルPROと混用事例のある薬剤】下記薬剤とは混用しても薬害のなかった事例があります。

- 展着剤は加用しない
- 殺菌剤：カンタスドライフロアブル、ユニックス顆粒水和剤、ストロビーフロアブル、アミスター20フロアブル、チルト乳剤、ペフラン液剤25、シルバキュアフロアブル、イントレックスフロアブル
- 殺虫剤：スミチオン乳剤、エルサン乳剤

■秋まき小麦でのサイコセルPRO処理試験事例



■適用作物と使用方法

作物名	使用目的	使用量	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	クロルメコートを含む農薬の総使用回数
小麦(春播)	茎稈の伸長抑制	150ml/10a	100ℓ/10a	6葉期前後(草丈30~40cm)	1回	茎葉散布	北海道	1回
小麦(秋播)		150~200ml/10a		幼穂形成期	1回			
200~300ml/10a		出穂前20~10日(草丈約40~60cm)		1回				

▲ 効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 本剤散布によりときには葉面に黄化症状を呈することがあるので、使用の際は過度に抑制させないためにも、必ず指定濃度を守り、多量散布にならないよう葉面が均一にぬれる程度に散布してください。また、晴天の日は日中散布を避け、夕方に散布してください。
- 本剤の散布直後の降雨・灌水は効果を減じるので、天候を見きわめ灌水後に散布してください。
- 本剤は極端な多肥栽培、密植栽培では小麦に対する効果が劣るので注意してください。
- 薬害や効果不足を生じるおそれがあるので、鉄砲ノズル及びミスト機の使用はさけてください。
- 春播き小麦を根雪前に播種する場合(初冬播き栽培)には、春播き栽培に準じた使用量、使用時期で散布してください。
- 本剤は一般作物にも微量で影響を及ぼすことがあるので、周辺作物にかからないように注意してください。また、使用後の散布器具等は十分洗浄してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除等関係機関の指導を受けてください。
- 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当てを受けてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当てを受けてください。

▲ 安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 散布の際は防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをしてください。
- 本剤による中毒に対しては、動物実験で硫酸アトロピン製剤が中毒症状を増強するという報告があります。

保管…直射日光を避け、食品と区別して、鍵のかかるなるべく低温場所に密栓して保管してください。



このチラシの記載内容は2022年12月現在のものです。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 小児の手の届く所には置かないでください。
- 使用後の空容器は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。
- 防除日誌を記載しましょう。

BASFジャパン株式会社

東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号 OVOL日本橋ビル3階
☎0120-014-660 <https://crop-protection.basf.co.jp/>